



平成 24 年 4 月 12 日

各 位

東京都品川区南大井 6 丁目 28 番 12 号  
 会社名 株式会社 大庄  
 代表者名 代表取締役社長 平 辰  
 (コード番号 9979 東証第 1 部)  
 問合せ先 専務取締役 水野 正嗣  
 (TEL 03-5764-2229)

## 第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正 並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 10 月 14 日に公表した平成 24 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想の修正及び特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想との差異および修正について

##### (1) 連結

第 2 四半期累計期間連結業績予想値との差異 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	38,400	620	530	210	10 円 46 銭
実績値 (B)	39,114	1,014	898	620	30 円 77 銭
増減額 (B-A)	714	394	368	410	—
増減率 (%)	1.9	63.5	69.4	195.2	—
前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 8 月期第 2 四半期)	40,556	△575	△662	△1,736	△97 円 13 銭

通期連結業績予想の修正 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	77,500	1,650	1,470	600	29 円 87 銭
今回修正予想 (B)	77,800	2,070	1,830	820	40 円 15 銭
増減額 (B-A)	300	420	360	220	—
増減率 (%)	0.4	25.5	24.5	36.7	—
前期実績 (平成 23 年 8 月期)	79,227	△605	△814	△3,395	△178 円 82 銭

##### (2) 個別

第 2 四半期累計期間個別業績予想値との差異 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	34,600	550	460	170	8 円 46 銭
実績値 (B)	35,011	980	878	765	37 円 99 銭
増減額 (B-A)	411	430	418	595	—
増減率 (%)	1.2	78.2	90.9	350.0	—
前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 8 月期第 2 四半期)	32,928	△602	△645	△1,622	△90 円 75 銭

通期個別業績予想の修正 (平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	69,700	1,500	1,320	530	26 円 39 銭
今回修正予想 (B)	69,500	2,000	1,780	970	47 円 49 銭
増減額 (B-A)	△200	500	460	440	—
増減率 (%)	△0.3	33.3	34.8	83.0	—
前期実績 (平成 23 年 8 月期)	64,320	△606	△726	△3,879	△204 円 31 銭

## 2. 業績予想との差異および修正の理由

### (1) 第2四半期連結業績予想値との差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により企業の生産活動や個人消費に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機問題などを背景とした海外景気の減速や長引く円高等により、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは「飲食事業における収益力の早期回復」を最重点経営課題として認識し、「既存店舗対策の強化」を中心に様々な施策に取り組みました。その結果、既存店売上高は第2四半期累計で対前年比104.8%と好調に推移し、公表計画(101.6%)に対しても大幅達成となりました。この要因が大きく影響し、連結売上高は前回予想を上回りました。

また、前期に実施した「不採算店舗のリストラクチャリング」による収益性の大幅改善や、期首に行った「子会社合併や組織改編による経営効率化」によるコスト削減なども想定以上に奏功したため、営業利益、経常利益、四半期純利益についても、前回予想を上回りました。

### (2) 通期連結業績予想の修正理由

通期につきましても、第2四半期の業績を勘案し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を修正することといたしました。

### (3) 第2四半期個別業績予想値との差異の理由

第2四半期個別業績につきましても、第2四半期連結業績と同様の要因により前回予想を上回りました。

### (4) 通期個別業績予想の修正理由

通期につきましても、第2四半期の業績を勘案し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を修正することといたしました。

## 3. 特別損失の計上

当社は、平成24年8月期第2四半期において下記の通り特別損失の計上を行います。

### (1) 連結

合計で317百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

- ①減損損失 202百万円  
最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。
- ②固定資産除却損 72百万円  
店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。
- ③店舗関係整理損 38百万円  
店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。
- ④固定資産売却損 4百万円  
店舗閉鎖時に売却した設備の売価と簿価の差額等を計上いたします。

### (2) 個別

合計で304百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

- ①減損損失 202百万円  
最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。
- ②固定資産除却損 71百万円  
店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。
- ③店舗関係整理損 25百万円  
店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。
- ④固定資産売却損 4百万円  
店舗閉鎖時に売却した設備の売価と簿価の差額等を計上いたします。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上